

1 教職課程

(1) 免許状取得について

教員免許状を取得しようとする者は、卒業に必要な単位のほかに、免許教科に応じた科目および教職に関する科目の単位を修得しなければなりません。

さらに中学校教諭1種免許状を取得しようとする者は、介護等の体験を受けることが必要です。

教職課程履修の申し込みは2年次ですが、免許教科に応じた授業科目は1年次より開講されますので、計画的に履修するようにして下さい。

詳細については、新年度のガイダンス期間中に学年別の教職ガイダンスを実施しますので、希望者あるいは履修者は必ず出席して下さい。

なお、教職課程を履修するには、学費とは別途に教職課程履修費を納入しなければなりません。また、教育実習に係わる保険料や介護等の体験を受ける場合の諸費用が必要です。

(2) 免許状の種類および教科

学部	学科	免許状の種類	免許教科
経済学部	経済学科	中学校教諭1種免許状	社 会
		高等学校教諭1種免許状	地 理 歴 史
		高等学校教諭1種免許状	公 民
		高等学校教諭1種免許状	※ 商 業

※免許教科「商業」については、2005年度以降入学生のみ取得可能

(3) 教職課程科目の履修登録について

教職課程の履修を希望する者は、一般の科目と同様に履修登録を行って下さい。教職課程の専門教育科目は、教科に関する科目・教職に関する科目に分かれますが、それぞれについて必要な単位を修得して下さい。

また教職に関する科目のうち、下記表に示したように読替え科目として全学共通科目を修得することで自動的に単位認定される科目もありますので履修漏れのないように注意して下さい。

全学共通科目(開講年次)	* 教職に関する科目
教育学 A (1~4年)	教 育 原 論
教育学 B (1~4年)	教 育 構 造 論
心理学 A (1~4年)	発 達 と 学 習 の 原 理

上記表中*教職に関する科目の科目名は、本学では開講されていないので、時間割には表示されていません。

<p>(4) 教職課程履修上の注意</p>	<p>①教職に関する科目、教科に関する科目のいずれも1年次から開講されます。希望者は早めに科目の履修を始めておいて下さい。</p> <p>②教職・教科のいずれの科目についても、学部・学科単独開講ではなく、複数学部・学科による合同開講科目となる場合がありますので、履修登録の際には時間割に注意して下さい。</p>
<p>(5) 介護等の体験について</p>	<p>免許教科に係わらず中学校1種免許状を取得しようとする者は、免許状を申請する段階で、体験を受けた証明書を授与願に添付して提出しなければなりません。愛知県下の大学で免許状取得を希望する者は、原則として県下の盲・聾・養護学校(2日間)と社会福祉施設(5日間)の計7日間以上を3年次に体験することになっています。また、事前指導や体験に係わる保険加入も義務づけられています。</p> <p>介護等体験のスケジュール</p> <p>2年次 教職課程申込み(介護等体験の申込みを行う) 介護等体験の事前指導(3月下旬から4月初旬の間)</p> <p>3年次 保険加入手続き・施設への謝金の納入 体験(盲・聾・養護学校、社会福祉施設) (期間は8月頃から12月頃の間) (所定の証明書を持参し、証明を受ける。各自保管) 体験レポートと、体験証明書の提出</p>
<p>(6) その他</p>	<p>①教職に係わる就職対策行事は、キャリアセンターで取り扱っています。</p> <p>②教務課教職課程のガイダンス、およびキャリアセンターの各種ガイダンス・説明会については、次ページの「教職課程履修の流れと『教員』採用試験対策の概要」の表中「～ガイダンス」「～説明会」(太字)を確認して、必ず出席するようにして下さい。</p>

《教職課程履修の流れと『教員』採用試験対策の概要》

学年	時 期	教職課程履修の流れ(教務課教職係)	教員採用試験対策と出願から採用まで(キャリアセンター)
1年	4月	新入生資格ガイダンス 履修登録(教員になることを目指す学生は、1年次から教職課程の科目を履修登録すると良い)	
	3月下旬	新2年次向け教職課程ガイダンス 教職課程履修申込(中学校免許状の申込をした人は、同時に介護等体験を申込んだことになります。) 【申込書あり】【履修費用が必要】 教職課程科目も含めた履修登録	教員採用試験準備と対策ガイダンス
2年	3月下旬	新3年次向け教職課程ガイダンス	
	3月下旬～4月初旬	『介護等の体験』事前指導	教員採用試験進路ガイド配布と説明 教員採用試験講座(毎年)
3年	4月～5月中旬	教育実習校の選定と依頼承諾を得る。 (実習校の選定と依頼は実習生個人で行う。ただし、名古屋市立高等学校に承諾を得た人は、ガイダンス時に渡してある教育実習生個票と誓約書を教職担当に提出する。また、個人で依頼できない学校もあるので「教職課程履修の手引」を参照すること。)	
	4月～7月上旬	自己紹介書の提出	
	5月下旬	愛知県公立中学校、名古屋市立中学校で教育実習を希望する人は、ガイダンス時に渡した、教育実習生個票を提出。名古屋市立中学校については、誓約書も同時に提出する。	
	6月中旬	介護等体験先(社会福祉施設(5日間))の決定	
	7月上旬	介護等体験費用の納入 介護体験中の賠償責任保険への加入 介護等体験先(盲・聾・養護学校(2日間))の決定	
	8月～12月	体験期間中の授業欠席届の提出(体験の1～2週間前) 介護等体験の実施	
	11月下旬		教員試験ガイダンスおよび教員合格体験者報告会 教員採用試験模試(第一回) 教員採用試験採用情報と試験対策ガイダンス
	3月下旬	新4年次向け教職課程ガイダンス	
	4月	愛知県公立中学校・名古屋市立中学校の実習校の決定 教職係から実習生へ連絡	教員採用試験模試(第二回)
	4月～5月中旬	教育実習校との事前打ち合わせ(前期実習生)	教育委員会願書配布
4月中旬	教育実習中の賠償責任保険への加入 自己紹介書の記入完了		
4月中旬～6月上旬	教育実習事前指導		
4月中旬～	実習期間中の授業欠席届の提出(実習の1～2週間前)		
5月上旬		教員試験直前ガイダンスおよび教員採用試験出願等説明会 教員採用試験直前模試(第三回) 出願受付(持参または郵送)	
5月下旬			
5月下旬～7月中旬	教育実習の実施 教育実習の経過の報告 教育実習終了後の実習校への礼状		
6月下旬		受験票受取	
7月～8月		第1次試験 筆記(教養・教科専門・論作文)・実技・面接・適性検査など	
4年	8月～	教育実習校との事前打ち合わせ(後期実習生)	第1次試験合否通知
	9月		第2次試験 論作文・実技・面接・適性検査など
	9月中旬	実習期間中の授業欠席届の提出(実習の1～2週間前)	
	9月下旬～11月下旬	教育実習の実施 教育実習の経過の報告 教育実習終了後の実習校への礼状	
	9月下旬	免許状一括申請説明会 免許状授与申請カードの提出 免許状申請手数料納入	
	10月		第2次試験合否通知(名簿搭載)
	11月	教育実習事後指導	
	11月下旬	一括申請授与願確認	
	11月～3月		市区町村教育委員会面接 学校長面接・健康診断 採用・配属決定
	3月上旬	一括申請	
卒業時	免許状受け渡し		
卒業後4月		配属先に赴任	

2002年度入学生

教育実習履修要件

全学部共通して、3年次終了時点で中学校1種免許状希望者は卒業所要単位のうち90単位以上と教職に関する科目6科目以上の修得を、高等学校1種免許状希望者は卒業所要単位のうち90単位以上と教職に関する科目5科目以上を修得した者でなければ教育実習の履修を認めることができません。なお、

- ① **経済学部**で教育実習を履修する者は**当該教科教育法**を前年度末までに修得していなければなりません。
 - ② **教育実習5単位(中学校1種免許状)**、**3単位(高等学校1種免許状)**のうち1単位は事前事後指導とし、これに出席しなければ教育実習の単位を認定することができません。また、3単位実習をもって5単位実習に当てることはできません。
 - ③ 「教育実習」は中学校・高校の免許の種類によって実習期間(単位数)が異なります。中・高両方の1種免許状取得を希望する者は、**教育実習Ⅰ(中学校教諭)**の方を必ず履修して下さい。
- 教育実習履修有資格者は、3年次末の3月下旬に発表します。

資格課程について

《教職課程学科目課程表》

教職共通科目

科目名	単位	年次	備考
法学(含日本国憲法)☆	4	1年	必修
生涯スポーツⅠ・Ⅱ☆	各1	1年	うち2単位 選択必修
健康管理実習☆	1	1・2・3・4年	
健康科学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ☆	各2	2・3・4年	必修
英語Ⅱ☆	2	1年	
コンピュータ処理論A☆	2	2年	うち2単位 選択必修
コンピュータ処理論B☆	2	2年	
情報処理論※	4	3・4年	

注1 上記科目については、全学共通科目および学部固有科目の新旧対照表を参照のこと。

注2 法学(含日本国憲法)未修得の場合は、日本国憲法を履修すること。

注3 ☆印の全学共通科目および※印の学部固有科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

教科に関する科目

科目名	単位	年次	備考(関係免許状)		
日本史A・B☆	各2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	
西洋史A・B☆	各2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	
東洋史A・B☆	各2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	
地理学A・B☆	各2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	
地誌	4	2年	中1種社会	高1種地歴	
自然地理学	4	3年	中1種社会	高1種地歴	
政治学A・B☆	各2	1～4年	中1種社会		高1種公民
マクロ経済学※	4	2～4年	中1種社会		高1種公民
国際経済学※	2	2～4年			高1種公民
国際要素移動論※	2	2～4年			高1種公民
日本経済の基礎※	2	2～4年		高1種地歴	
日本経済論※	2	2～4年		高1種地歴	
倫理学A・B☆	各2	1～4年	中1種社会		高1種公民
日本経済史※	2	2～4年		高1種地歴	
現代日本経済史※	2	2～4年		高1種地歴	
西洋経済史※	2	2～4年		高1種地歴	
中部経済論※	2	2～4年		高1種地歴	
心理学A・B☆	各2	1～4年			高1種公民
国際法Ⅰ・Ⅱ※	各2	2～4年			高1種公民
社会学A・B☆	各2	1～4年			高1種公民 うち12単位 選択必修
哲学A・B☆	各2	1～4年			
行政法Ⅰ・Ⅱ※	各2	2～4年			
入門貿易政策※	2	2～4年			
応用貿易政策※	2	2～4年			
社会保障論※	2	2～4年			
社会保障制度論※	2	2～4年			

注. ☆印の全学共通科目および※印の学部固有科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

教職に関する科目

科目名		単位	年次	備考 (関係免許状)		
教育原論	教育学Aで読替☆	2	1~4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
教育構造論	教育学Bで読替☆	2	1~4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
発達と学習の原理	心理学Aで読替☆	2	1~4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
教職入門		2	2年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
教科教育の内容と方法		2	2年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
学習指導の過程		2	3年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
道德教育の研究		2	2年	中1種社会		
特別活動の方法		2	4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
生活指導の方法		2	4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
教育相談 (カウンセリングを含む)		2	3年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
社会科教育法		4	3年	中1種社会		
公民科教育法		4	3年			高1種公民
地理歴史科教育法		4	3年		高1種地歴	
教職総合演習 I		2	3・4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民
教職総合演習 II		4		(平成17年度不開講)		
教育実習 I (中学校)		5	4年	◎中1種社会	◎	◎
教育実習 II (高等学校)		3	4年		高1種地歴	高1種公民

注1 ☆印の全学共通科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

注2 ◎印の中1種、高1種両免許状取得希望者は、「教育実習 I」を履修して下さい。